

第4学年「音楽」学習指導案

授業者 下田 愛佳里

2月16日(木) 4階アセンブリ 9:00~9:40

1 題材名 音の響きを感じよう

2 題材について

4月から、音楽の学習場所がスタジオからアセンブリに変わり、使用できる楽器も増え、「ミュージックプランに基づく学習」もスタートした。1学期は、楽器に触れることや、音を鳴らすことに夢中になり、ただひたすらに楽器に触れ、新しい楽器にも挑戦し続けていた。2学期からは、だんだんと自分の好みの楽器や、やりたい曲なども明確に持つようになり、個々に自分の課題と向き合いながら練習をする姿を多く目にするようになった。また、自分自身の音楽だけではなく、友だちの演奏に合わせて身体を動かしてみたり、「一緒にやってもいい？」と声をかけたり、友達のを奏でる音楽にも興味をもつ姿も見られるようになってきた。時には友だちと意見が合わずぶつかることもあるが、そのような異なる表現が行き交うことで、互いに触発し合い、さらに広がっていく。彼らは本当に生き生きとした表情で音楽を全身で感じているのである。これからも子どもが自分の音楽に浸れる時間を保障し、音楽を楽しみながら、自己の課題と向き合い、互いに高めあう姿を期待したい。

また、自己と向き合う時間と平行して、みんなでひとつの響きに耳を傾ける時間も設けることで、互いに息をあわせ「ともに奏でる」喜びや他者がいるからこそまれる音楽を味わってほしい。本題材で取り扱う「かっこうと月」は2部に分かれており、お互いが掛け合うところがある。その部分では相手の音をよく聴き、まねをする活動を取り入れる。そこでは、友だちと掛け合う楽しさを感じながら、リコーダーの息づかいを意識できるようにしていきたい。

3 学習指導計画(3学期前半 6時間目/全10時間)

1時間目 ←	→ 10時間目
<ミュージックプランに基づく学習> やりたいことを選ぶ・個人やグループで考え、みんな発表する・評価交流する	
<歌唱> 「雲においつけ」「大空のカーニバル」他	
<ソプラノリコーダー> 「もののけ姫」「カントリーロード」「かっこうと月」 既習曲	

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・課題と向き合い、仲間と音を聴き合いながら、工夫して表現する。
- ・リコーダーで、息の使い方や、音の動きを意識し、音の響きや音の重なりを味わえるようにする。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○個人やグループで、自分の課題と向き合って活動を進める 教え合う 工夫する 音を聴く	ゆずり合って楽器を使う 音や楽器の調整
○全体で合唱やリコーダー演奏をする からだをほぐす	気持ちよく演奏できる 姿勢・運指・姿勢の確認
○「かっこうと月(予定)」をグループごとに練習する(継続) 友だちと見合う 音をよく聴く 響きを味わう	音を聴き合う 息の使い方
○お互いの演奏を聴き合う	自分の言葉で意見を言える